



様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月 28日

豊 田 市 長 殿

提出者

住所 神奈川県相模原市南区麻溝台一丁目7番1号

氏名 プライムデリカ株式会社

代表取締役社長 齊藤 正義

電話番号 042-702-0011

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和2年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称 プライムデリカ株式会社 豊田第一工場

事業場の所在地 愛知県豊田市花本町井前1番地23

事業の種類 食料品製造業

産業廃棄物処理計画における計画期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

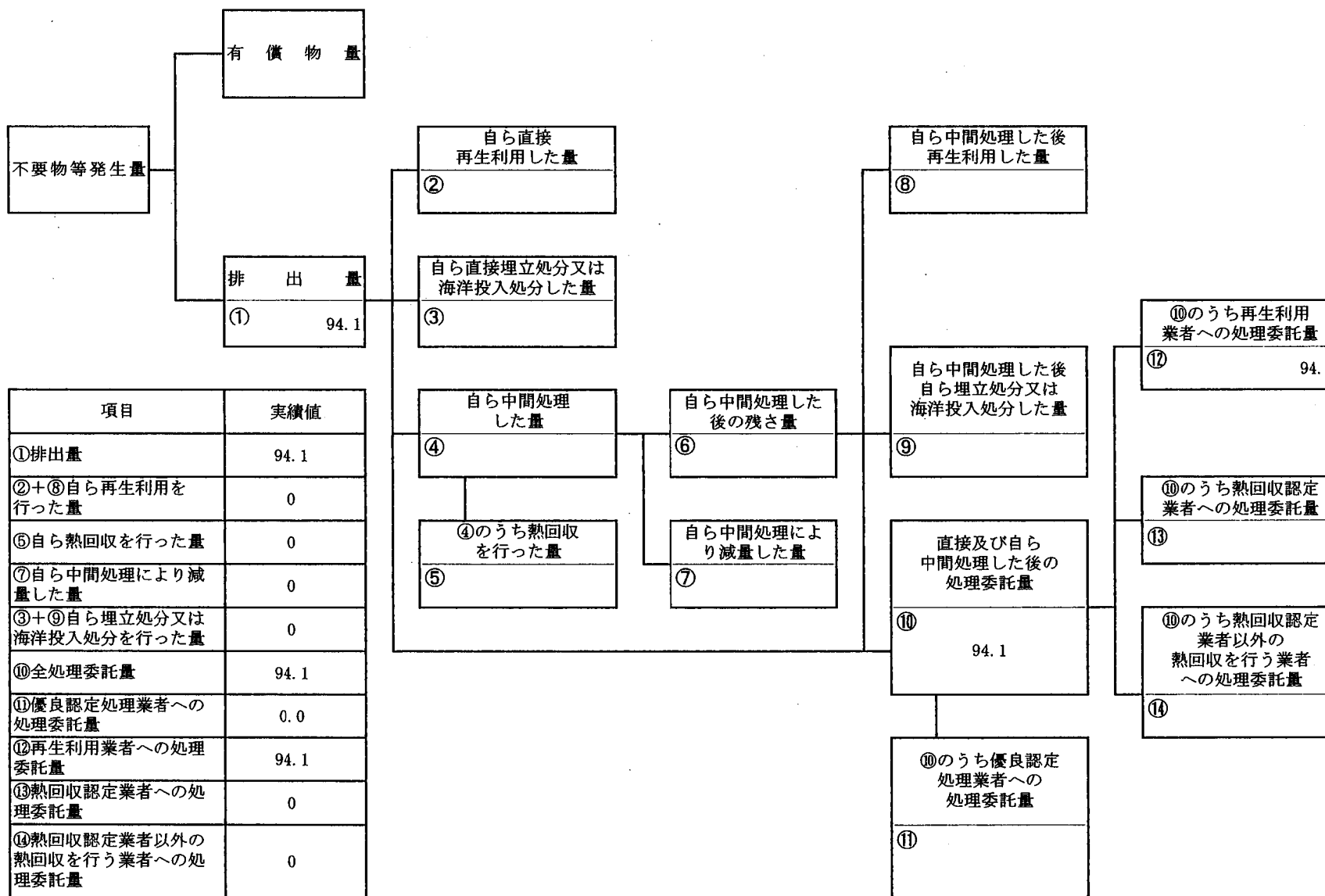
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2857.4 t	全処理委託量	1832.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	740.3 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1178.3 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1025.4 t	認定熱回収業者への処理委託量	2.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	651.4 t

※事務処理欄

(日本工業規格 A列4番)

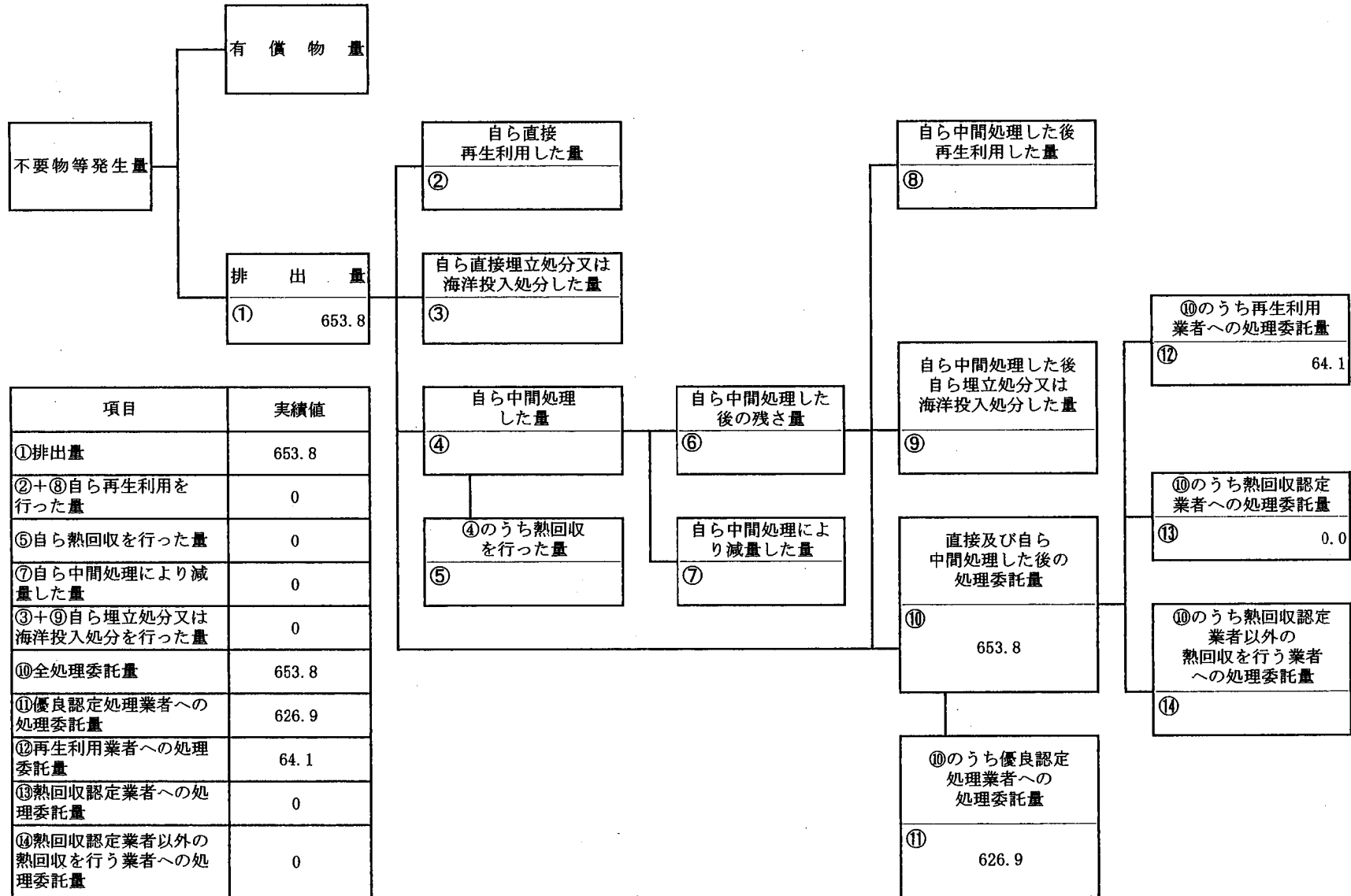
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 汚泥)



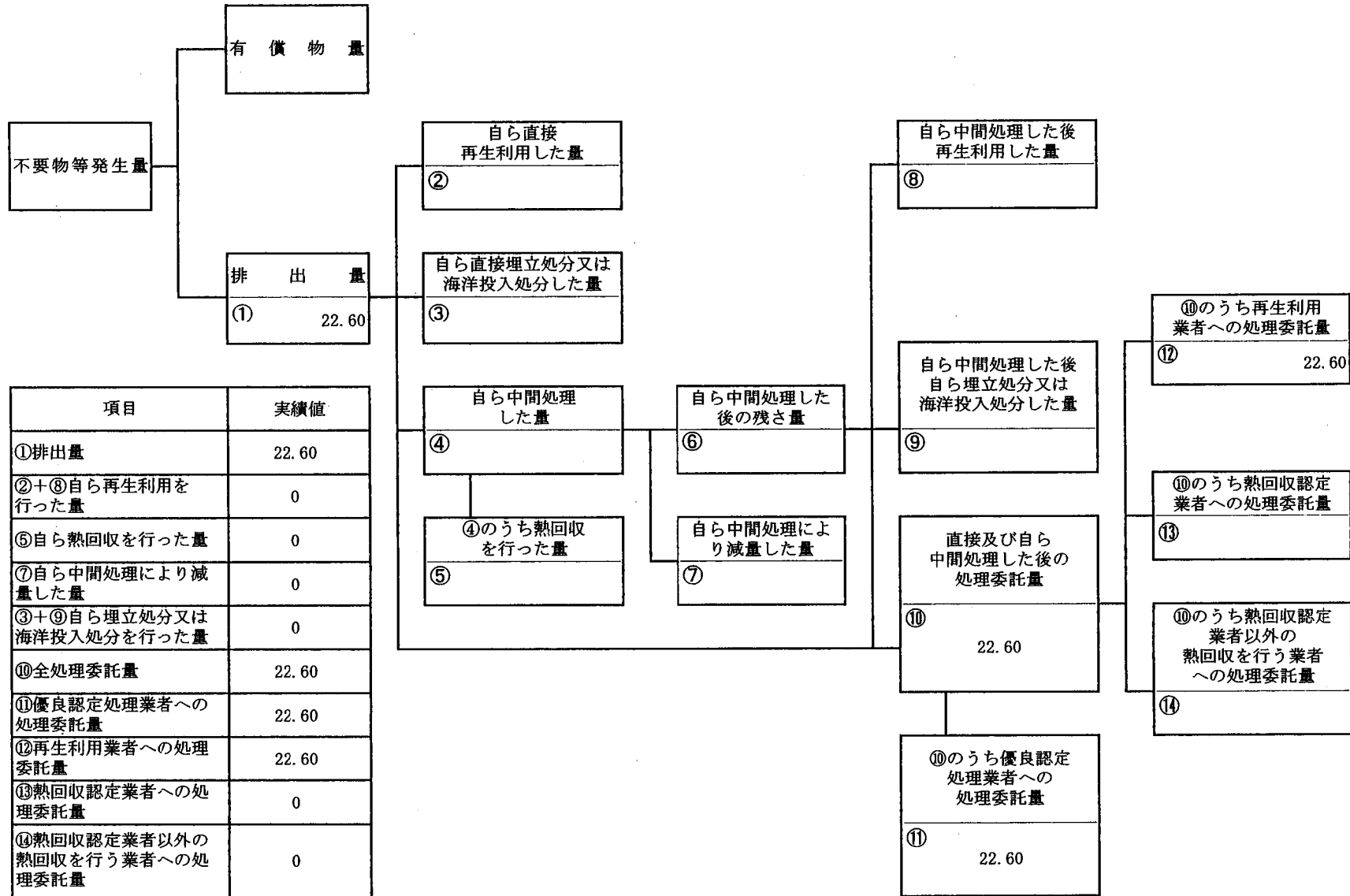
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)



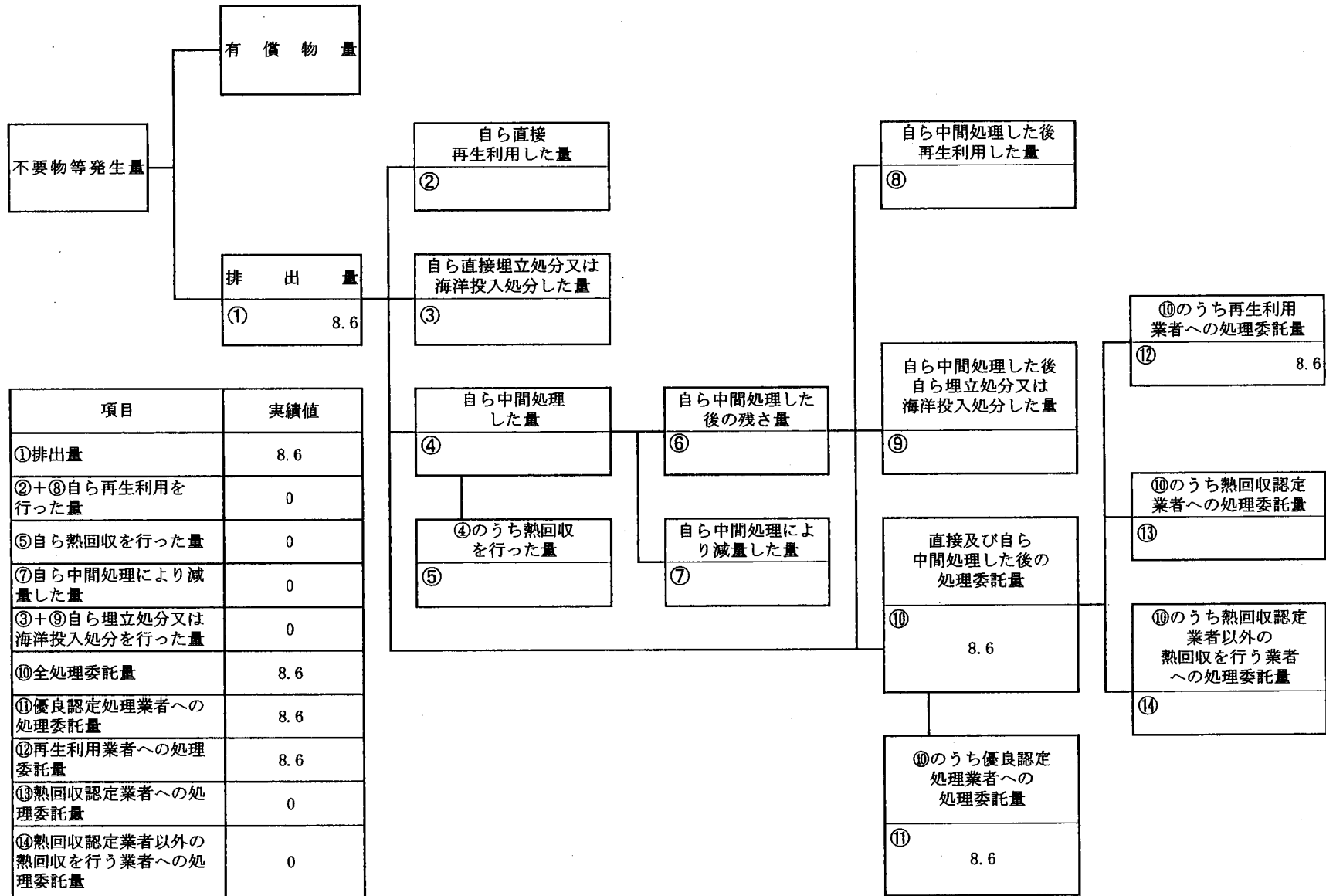
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 金属くず)



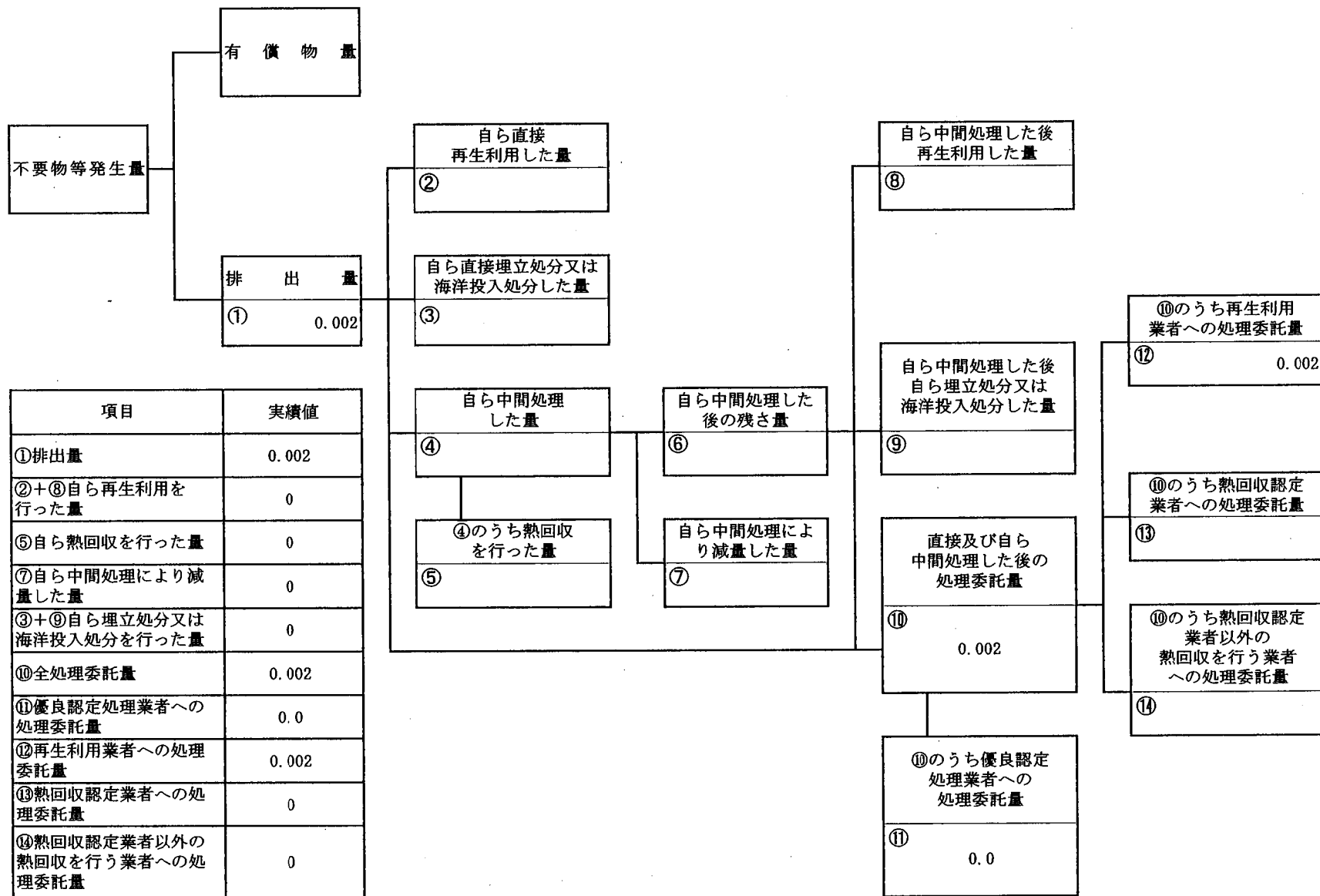
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)



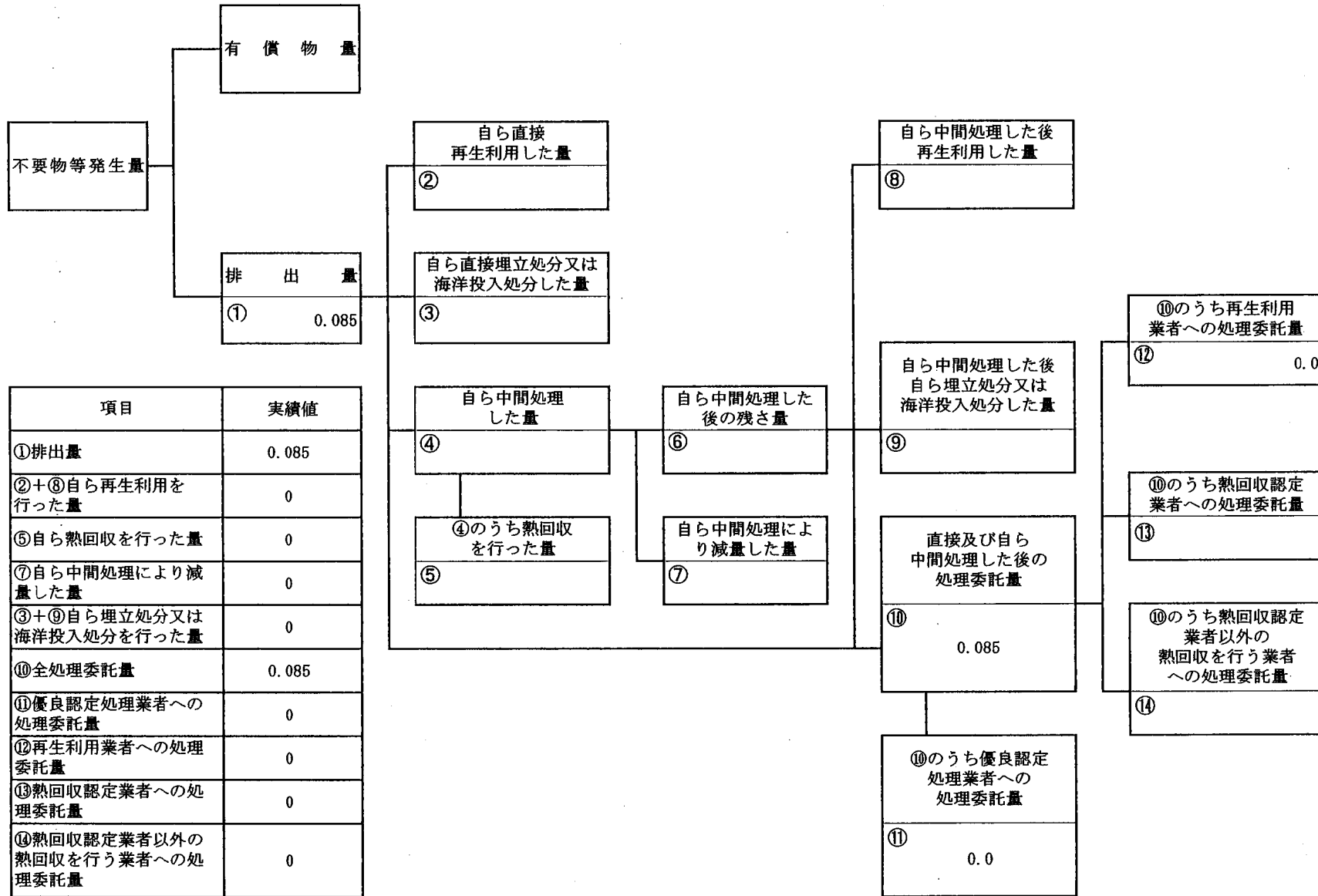
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：水銀使用製品産業廃棄物)



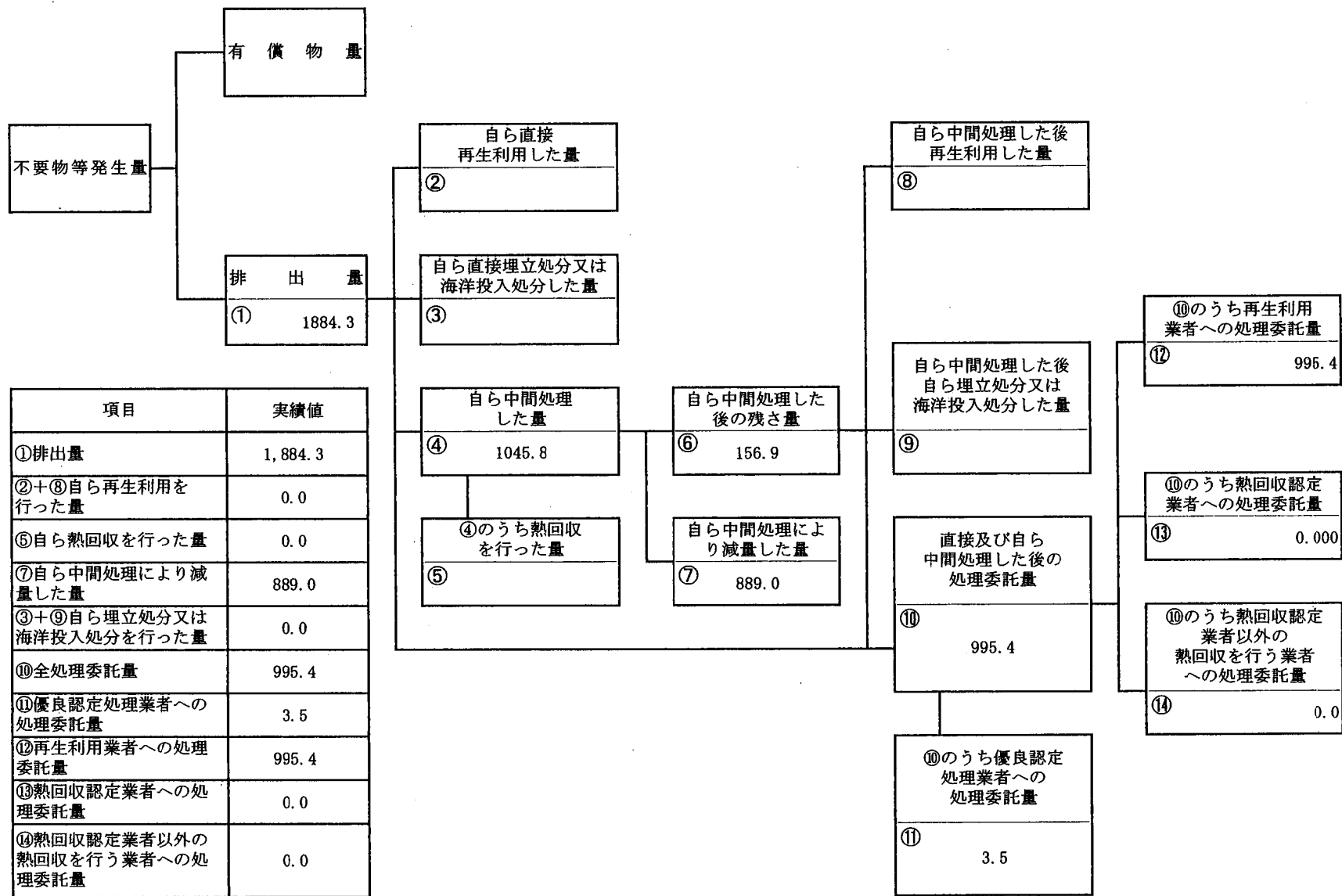
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃電池類)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 動植物性残さ)



産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1/2)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	プライムデリカ株式会社 豊田第一工場	従業員数 (人)	600名	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	藤原秀憲	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)		建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	0565-44-0005	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	10,272百万円	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	動植物性残渣	廃プラスチック類	汚泥	金属くず	ガラスくず
		野菜くず等	容器・包装材等	有機汚泥	金属くず	ガラスくず
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)	1,884.3	653.8	94.1	22.6	8.6
	b 有償物量 (t/年)	0	0	0	23	0
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	1,884.3	653.8	94.1	0.0	8.6
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	1,045.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	処理方法	B 脱水・乾燥	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	889.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	156.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	156.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	838.5	653.8	94.1	0.0	8.6
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	995.4	653.8	94.1	0.0	8.6
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	995.4	653.8	94.1	23.0	8.6
	処理方法	E (発酵)	A・C・E (選別・燃料化)	E (発酵)	E (破碎・選別)	E (破碎・選別)
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	995.4	64.1	94.0	23.0	0.0
	再生利用用途	C	0	C	A	A
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	61.1	0.0	0.0	8.6
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	995.4	64.1	94.0	23.0	0.0
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	889.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.0	61.1	0.0	0.0	8.6

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A:焼却・溶融 B:脱水・乾燥 C:破碎・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 2/2)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	プライムデリカ株式会社豊田第一工場	従業員数 (人)	600名	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	藤原秀憲	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)		建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	0565-44-0005	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	10,272百万円	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	水銀使用製品産業廃棄物				
		蛍光管	乾電池			
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 （ 年 度 実 績 ）	a 不要物等発生量 (t/年)	0.002	0.085			
	b 有価物量 (t/年)	0.0	0.0			
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)					
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0.0	0.0			
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0			
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.0	0.0			
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)					
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0.0	0.0			
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.0	0.0			
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.0			
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)					
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)					
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)					
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.0	0.0			
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	0.0	0.085			
	処理方法	C	A	E (発酵)	E (破碎・選別)	E (破碎・選別)
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0.0	0.0			
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.002	0.0			
	再生利用用途	A	0.0			
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.0	0.085			
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)					
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)					
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)					

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。